

2021年度ジェンダーセンター 第一回定例研究会

ファッション

と ジェンダーやルッキズム の問題を考える

アイデンティティ

ジェンダー・アイデンティティの構築においてファッションは重要な一装置といえる。ファッションとジェンダー・アイデンティティ構築について考える際に「ルッキズム」の問題が昨今より議論されるようになってきた（『現代思想』2021年11月号ルッキズム特集）。そこでファッションとアイデンティティの関係を通して、ジェンダー、ルッキズムの問題についてどうアプローチするかファッション研究者である蘆田裕史氏、またコメンテーターには上記『現代思想』でもメディア文化とルッキズムの関係について執筆された大妻女子大学の田中東子氏（メディア文化論、カルチュラル・スタディーズ、フェミニズム）をお迎えする。

事前参加申込制
(参加費無料・先着順)
詳細は右記QRコード
下記URLより



<https://tinyurl.com/yyl8ogaa>

参加受付：2021年12月6日（月）～2022年1月14日（金）



蘆田裕史氏

1978年生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程研究指導認定退学。現在、京都精華大学デザイン学部准教授／副学長。著書に『言葉と衣服』（アガチプレス、2021年）など。ファッションの批評誌『vanitas』編集委員、本と服の店「コトバトフ」の運営メンバーも務める。



田中東子氏

1972年生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了。政治学博士。現在、大妻女子大学文学部教授および東京大学情報学環客員教授。専門は、メディア文化論、フェミニズム、カルチュラル・スタディーズ。著書に『メディア文化とジェンダーの政治学—第三波フェミニズムの視点から』（世界思想社、2012年）、編著や共著に『ガールズ・メディア・スタディーズ』（共編著、北樹出版、2021年）、など

コーディネーター／司会
高馬京子(情報コミュニケーション学部)

2022年1月18日（火）18時～20時
オンライン開催（ZOOMウェビナー使用）